

学 生 便 覧

昭 和 5 2 年 度

白 鷗 女 子 短 期 大 学

昭和52年度年間行事予定

前 期 (4月1日～8月31日)

入 学 式	4月9日(土)
授 業 開 始	4月11日(月)
オリエンテーション	4月11日(月)
入 学 式 (二部)	4月16日(月)
履 修 届 提 出	4月21日(木)
前 期 試 験 開 始	7月18日(月)
前 期 試 験 終 了	7月23日(土)
集 中 講 義	7月25日(月) 7月30日(土)
夏 期 休 業 開 始	8月1日(月)
夏 期 休 業 終 了	9月10日(土)

後 期 (9月1日～3月31日)

後 期 授 業 開 始	9月12日(月)
大 学 祭	11月12日(土) 11月13日(日)
冬 期 休 業 開 始	12月19日(月)
冬 期 休 業 終 了	1月7日(土)
後 期 授 業 再 開	1月9日(月)
後 期 試 験 開 始	2月13日(月)
後 期 試 験 終 了	2月18日(土)
春 期 休 業	3月7日(火)
卒 業 式	3月15日(水)

目 次

幼児教育科学生のために	1
英語科学生のために	1
白鷗女子短期大学学則（抜萃）	2
学 生 心 得（抜萃）	7
学科目履修に関する細則	9
授業科目とそのとり方	10
授業科目登録	11
注 意 事 項	12
奨学制度について	13
学生の自治活動について	13
クラブ・同好会	14
日光セミナーハウス	14
各種証明書の発行と願・届書	15
授業科目表の見方	15
授業科目表（別表）	16
卒業するために必要な科別専門科目単位数	
英 語 科	17
幼児教育科	18
授業科目の講義内容	20

幼児教育科学生のために

副 学 長 野 口 二 郎
幼児教育科長

白鷗女子短期大学幼児教育科新入学生の皆さん入学おめでとう。

本学は、昭和49年4月開学、翌年に学生定員増を、さらに昨年4月2部増設と着々と内容充実をはかりつゝあることは周知のことです。また今回第2回卒業生が学園を巣立ち、そのうち90%の人たちは、すでに幼児教育現場に就職しています。

皆さんは本学第4回の卒業生となるわけであり、社会の期待に応えるための勉強が今日から始まろうとしているのであります。

よき幼児教育者、保育者となるということは、幼稚園教諭、保育所保育士の資格を取得すればよいということではないと思います。本学は単に資格を与えるための養成所ではありません。

広い分野にわたるそれぞれ専門の研究を続けておられる多数の先生方は、皆さんにとって何が真の基礎的学習であるかということについて真剣に取組んでおられます。そして皆さんの入学を心から歓迎しておられるのです。

いうまでもないことですが皆さんは今までよりも一層自主的な勉強態度、研究態度が要求されます。

『幼児教育』は、とりわけ、総合的な人間研究であるといってもよいと思いますのでこれからの2年間、よき友人関係、よき師弟関係をもった学園をつくり上げるためにお互いに努力していこうではありませんか。

英語科学生のために

英語科長 萩 原文彦

ご入学おめでとう。君は短大に入学して、これから英語を専門に研究する道についたわけです。自分の志がかなえられた喜びとともに、責任を感じていることと思います。

「初心を大切に」ということがいわれます。それで君の入学当初の真剣な気持を大切にしていって、2年間の研究活動を十分に実現して、学生生活を全うされるように祈ります。

さっそく開始される授業内容は、英語に関する各分野の科目であり、その関連科目であつて、講義内容を把握し、予習と復習を続けることは、相当の忍耐と体力を必要とします。しかしささいわいなことに君の青春がそれを支えてくれるはずで、要点を示しますと、「君に英語の実力をつけるものは、君自身である。」ということをお忘れなでほしい。

短大の英語科に入るとそれだけで自動的に英語が出来るようになるなどと考えたら大きなまちがいです。この恵まれた学園で研究することにより、良き学友を知り、深い体験を持つ師に親しむことによって、切磋琢磨の結果、目的が達成されるわけです。

白鷗女子短期大学学則(抜萃)

第一章 総 則

第1条 本学は、白鷗女子短期大学設立の精神に則り、人格を陶冶し必要な専門教育を施し、実践的にして、かつ有用な人材を育成することを目的とする。

第二章 学科及び授業科目

第2条 本学に英語科幼児教育科及び幼児教育科二部を置き、入学定員は次のとおりとする。

英語科 50人 幼児教育科 100人 幼児教育科二部 100人

第3条 授業科目は、一般教育科目・外国語・保健体育・専門教育科目及び教職に関する専門科目とする。

第4条 各授業科目とも、これを必修科目と選択科目とに分ける。なお、授業科目及び単位数は別表のとおりとする。

第三章 履修方法及び課程修了認定

第5条 英語科・幼児教育科の修業年限は2年とする。但し、在学期間は4年を越えることができない。幼児教育科二部の修業年限は3年とする。この在学期間は5年を越えることができない。

第6条 卒業に要する単位は、次のとおりとする。

英 語 科	一般教育科目	12 単位以上
	外国語科目	4 単位以上
	保健体育科目	2 単位以上
	専門教育科目	4 8 単位以上
	合 計	6 6 単位以上
幼児教育科	一般教育科目	12 単位以上
	外国語科目	4 単位以上
	保健体育科目	2 単位以上
	専門教育科目	5 4 単位以上
	合 計	7 2 単位以上
幼児教育科 二 部	一般教育科目	12 単位以上
	外国語科目	4 単位以上
	保健体育科目	2 単位以上
	専門教育科目	5 4 単位以上
	合 計	7 2 単位以上

第7条 授業科目の単位数は、次の基準によって計算する。

イ 講義については、1時間の講義に対し、教室外における2時間の準備、又

は学習を必要することを考慮して、毎週1時間15週の講義を1単位とする。

ロ 演習については、2時間の演習に対し、1時間の準備を必要とすることを考慮して、毎週2時間15週の演習を1単位とする。

ハ 実験・実習・実技等については、学習はすべて実験室または、実習場において行なわれるものであることを考慮して、毎週3時間15週の演習または実習を1単位とする。

第8条 一般教育科目については、人文科学・社会科学及び自然科学の各系列にわたって、それぞれ2科目以上、4単位以上を履修し、合計12単位以上を修得することを要する。

第9条 外国語については、1カ国語以上について4単位以上を修得することを要し、幼児教育科（幼児教育科二部を含む、以下同じ）は英語を含むことを要する。

第10条 保健体育については、講義1単位以上・実技1単位以上を修得することを要する。

第11条 専門教育科目については、必修・選択を併せ、英語科48単位以上・幼児教育科54単位以上を修得することを要する。

第12条 教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教員免許状の種類及び教科は次のとおりである。

英 語 科 中学校教諭2級普通免許状（英語）

幼児教育科 幼稚園教諭2級普通免許状

第12条の2 幼児教育科学生で保母資格を取得しようとするものは、児童福祉法施行規則第39条の2第1項第3号にもとづく所定の教科目を修得しなければならない。

第13条 学生は履修しようとする授業科目を、毎年度所定の期間内に届けでなければならない。

第14条 学業成績は、試験により定める。

第15条 試験は、定期試験・追試験・再試験とする。

第16条 追試験はやむを得ない事故により、定期試験を受けられなかった者のためにのみ行なうことがある。

2 不合格の授業科目については、再試験を行なうことがある。

第17条 学業成績の評点は、優・良・可・不可とし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。

2 試験に合格した授業科目については、その授業科目所定の単位数を与える。

第18条 各授業科目については出席を要する日数の3分の1以上欠席した者は、その授業科目の試験を受ける資格を有しない。

第19条 本学に2カ年以上在学し、所定の課程を修了した者には卒業証書を授与する。

但し、幼児教育科二部は3カ年以上在学した者とする。

第四章 学年・学期及び休業日

第20条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第21条 学年は前期及び後期に分ける。

前期 自4月1日～至8月30日

後期 自9月1日～至3月31日

第22条 休業日を次のとおりとする。

1. 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日
2. 日曜日
3. 開校記念日 10月15日
4. 夏季休業日（自7月中旬～至9月上旬）
5. 冬季休業日（自12月下旬～1月上旬）
6. 春季休業日（自3月中旬～至4月上旬）

第五章 入学・退学・休学及び転学

第23条 入学の時期は、毎学年の始めとする。第27条他大学から本学へ、又本学から他大学へ転学しようとする者は所定の手続きをとらなければならない。

第28条 学科に欠員のある場合に限り、学年の始めに試験の上、編入・転科を許可することができる。

第29条 転科希望者は、所定の手続きをとらなければならない。

第30条 入学又は転科の許可を得た者は、保証人を立て次の書類を提出し、所定の学費を納めなければならない。

誓約書・在学証書・履歴書・戸籍抄本・卒業（修了）証明書

第31条 保証人は、その学生に関する一切の責任を負わなければならない。

第32条 保証人が姓名を改めたとき、又は転居したときは直ちにその旨を届けなければならない。

- 2 死亡・その他の事由により保証人に変更のあったときは、改めて誓約書を提出しなければならない。

第33条 病気その他の事由により退学しようとする者は、保証人連署の上退学願を提出しなければならない。

第34条 退学した者が、退学の時から2年以内に保証人連署をもって再入学を願い出た場合には、詮衡の上、再入学を許可することができる。

第35条 病気又はやむを得ない事由により、欠席が長期にわたるときは、保証人連署の上、休学を願い出ることができる。

- 2 前項の事由が消滅したときには、直ちに就学願を提出しなければならない。

- 3 休学の期間は1年以内とする。但し、やむを得ない場合は、更にこの期間を1カ年に限り延長することができる。

4 休学の期間は、卒業に要する在学期間に算入しない。

第36条 校医が健康上、修学に不適当と認められた者には、休学を命ずることがある。

第六章 学 費

第39条 学費は、学年の始めに納入するが、前期及び後期授業開始時の2期に分納することができる。

第40条 既納の学費・その他考査料・入学金等は一切返戻しない。

2 授業料は、休学中においても納めなければならない。但し、特別の事情によっては納入金の減額を認めることができる。

第41条 在学中に授業料・その他について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納入しなければならない。

第42条 実験・実習費等必要な費用は、別にこれを徴収する。

第八章 聴講生及び研究生

第47条 本学所定の授業科目のうち、聴講を希望するものがあるときは、詮衡の上、聴講生として聴講を許可することができる。

第48条 聴講生となることのできる者は、第24条の各号に規定する者とする。

第49条 聴講生は、その聴講した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には、その授業科目所定の単位を授与する。

第50条 聴講生として在籍した期間及び取得した単位は、正規の課程の在学年数及び単位数に換算し、又は認定することはできない。

第51条 聴講生の学費等本章に規定するもののほかは別に定める。

第52条 本学教員の指導を受け、本学所定の学科に関連した学科の研究を志望するものがあるときは、詮衡のうえ教授会の議を経て、研究生として学長が許可することができる。

2 研究生の細則については別に定める。

第九章 図書館及び研究施設

第53条 本学に図書館を置く。

図書館は図書その他の文献及び研究資料を蒐集管理し、教職員及び学生の閲覧に供する。

第54条 本学に研究室及びその他必要な研究施設を置く。

第十条 賞罰及び除籍

第55条 人物、学業優秀な者、又は範とすべき行為をなした者は、表彰する。

第56条 学生が本学則もしくは命令に背き、又は学生の本分に反する行為があった場合には懲戒を加える。

懲戒は、譴責・謹慎・停学及び諭旨退学とする。

第57条 次の各号のいずれかに該当するものは、除籍する。

1. 在学4年を越える者（二部については5年）

2. 休学期間が引続き2年以上にわたる者
3. 学費及びその他納付金を所定の期間中に納入しない者
4. 履修届を所定の期間中に提出しない者

- 附 則
- 1 本学則は昭和49年4月1日から施行する。
 - 2 本学則は昭和50年4月1日から施行する。
 - 3 本学則は昭和51年4月1日から施行する。
 - 4 本学則は昭和52年4月1日から施行する。

学 生 心 得 (拔 萃)

第一章 総 則

第1条 学生の本分

この心得は学生として守らなければならない事項を規定したものである。

第2条 学生は本学の目的使命に鑑み各自その本分を守るとは勿論本学学生として又将来社会の指導者となるべき者としての品位と誇りを堅持するものとする。

第二章 礼 儀

第3条 学生は人格の尊厳を重んじ秩序を守り礼儀を正しくしなければならない。

第三章 告 示

第4条 学生に対する告示は掲示もしくは印刷物によって行なう。学生は毎日必ずこれを承知しなければならない。

第5条 前条の掲示は掲示後3日を経れば一般に確認されたものとみなす。

第四章 学 生 証

第6条 学生は学年のはじめに学生証の交付を受けて常にこれを携帯し、本学職員の請求があった場合はいつでもこれを提示しなければならない。

第7条 学生証は1年毎に検印を受け、卒業・退学・除籍の場合は直ちに返納しなければならない。

第8条 学生証を紛失したときは、直ちに学生証再交付願を学長に提出して再交付を受けなければならない。再交付を受けようとするときは所定の手数料と写真を要する。

第五章 宿 所

第9条 学生が住所を変更した場合は直ちに届出なければならない。

第七章 服 装

第15条 学生の服装は簡素を旨とする。

第16条 常に本学所定のバッジを着用しなければならない。

第八章 保 健

第17条 学生は毎年行なわれる定時または臨時の健康診断および予防接種を受けなければならない。

第18条 学生又は同居人が法定伝染病にかかったとき又はその疑あるときは直ちに届出なければならない。

第19条 学長は健康診断の結果必要に応じて学生に治療を命ずることがある。

第九章 集 会

第20条 学生が学内又は学外において本学名を使用して集会・催物・その他の行事を行なおうとするときは、少くとも1週間以前に集会（催物・その他の行事）許可願を学長あて提出してその許可を受けなければならない。

2 前項の場合その実施については学生課長の指示に従うものとする。

第21条 前条の場合学生の本分に反する行為が認められたときは学長はその中止を命ずることがある。

第十章 掲 示

第22条 学生が学内において本学名または団体名簿を使用してビラ・ポスター類を掲示しようとするときは当該掲示物を学生課へ提出してその許可を受けること。

2 掲示は所定の場所に行なわなければならない。

3 掲示期間は原則として1週間とする。

第十一章 印刷物の配布

第23条 学生が学内または学外において本学名を使用して雑誌・新聞・パンフレット等の印刷物を配布しようとするときは、あらかじめ当該印刷物を添え、印刷物発行許可願を学長あて提出してその許可を受けなければならない。

第十二章 団 体

第24条 学生が自治会以外の団体を結成しようとするときは当該団体の規約および会員の名簿を添え、学生団体結成願を学長あて提出してその許可を受けなければならない。

2 団体の規約を改正する場合も第1項の規定を準用する。

第25条 前条の団体の行為が本学の目的に反すると認められるときは、学長はその許可を取り消し、解散を命ずることがある。

第26条 学生が団体として学外団体に参加しようとするときは、その学外団体の規約および役員名簿を添え学外団体参加願を学長あて提出してその許可を受けなければならない。

第27条 前条の学外団体の行為が本学の目的に反すると認められたときは学長はその許可を取り消すものとする。

第十三章 施設等の使用

第28条 学生および学生団体が本学の施設設備を使用するときは、施設設備使用願を学長あて提出してその許可を受けなければならない。ただし日常その使用を認められている施設設備についてはこの限りでない。

学科目履修に関する細則

(1) 履修科目の届け出

履修する科目は、学年始めの指定された期間内に、所定の方法によって、科目履修の届け出をしなければならない。

(2) 単位の認定

ア 科目修了の認定は、試験およびレポート評価、その他によって行なわれる。

イ 学業成績の評価は、優・良・可・不可とし、優・良・可を合格、不可を不合格とする。

(3) 試験

ア 定期試験は7月および2月に行なう。

イ 受験科目は、年度始めに届け出て履修した科目に限られる。

ウ 通年科目は1年を通じ、通年科目でないものは、前期、後期において、出席時間数が授業時間数の3分の2以上でなければ、その科目の試験を受けることができない。

エ 授業料を所定の期日までに完納しない者は試験を受けることができない。

(追試験) 本人の病気、天災、交通事故、就職試験、4年制大学編入試験、忌引その他やむを得ない事故により定期試験を受けられなかった者に対しては、追試験を行なう。

追試験を受けたい者は、追試験願書に欠席届(証明書等)を添えて定期試験終了後3日以内までに教務課に申込むこと。

(再試験) 不合格になった科目に対しては、その担当教員の許可を得た者にのみ行なうことがある。ただし、再試験については受験料を徴する。

(4) 受験

ア 受験のさいは学生証を提示すること。万一学生証を携帯しなかった者は、事前に学生課において、交付料を添え、受験用仮学生証の発行を受けること。学生証を提示しない者は受験できない。

イ 氏名・番号を記入しない答案は無効である。

ウ 机上には筆記用具以外のものを置くことは許されない。ただし、特に許された辞書教科書等はこの限りでない。

エ 試験場においては、監督者の指示に従って行動しなければならない。

オ 不正行為をした場合は、当該科目の評価を「不可」とする。

授業科目とそのとり方

種 類

授業科目は、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門科目からなり、保健体育科目以外はそれぞれ必修科目、選択科目にわかれる。

一般教育科目

人格の完成と社会人として立つべき基盤をつくるための科目として重視する。

一般教育科目は人文、社会、自然の3系列から成っている。

全学生は、人文、社会、自然の各系列から、それぞれ2科目以上、4単位以上を履修し合計12単位以上を修得することが必要である。

外国語科目

外国語は必要な基礎学力の一つであるとともに、ひろく世界的視野を養う意味においても重要な科目である。

保健体育科目

一般教育科目とともに、全学生必修の科目で、講座1単位、実技1単位からなっている。

専門教育科目

各科目がめざす研究目標を達成するために必要な、専門の授業科目である。専門科目は、英語科48単位以上、幼児教育科54単位以上を修得しなければならない。したがって、各科において定められた必修科目はこれを全部履修し、選択科目については、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および必要科目単位数（2年間の最低取得必要単位数＝英語科66単位以上、幼児教育科72単位以上）等を参照し、選択履修すること。（別表参照）

（教職に関する科目） 教員免許状を取得するための必要単位数は、免許状の種類によって異なるが、教育原理、教育心理、青年心理、教科教育法、教育実習、道徳教育研究、保育内容研究などを修めなければならない。（別表参照）

（保母資格に関する科目） 保母資格を取得しようとするものは、専門科目甲類は全部、乙類は5科目8単位以上修得しなければならない。（別表参照）

授 業 科 目 登 録

1. 学生は、学年のはじめにあたり、その学年において履修すべき授業科目を、適当なガイダンスを受けて選択する。学生は、これにもとづき年間（前・後期にわたる）受講時間表を作成し、履修届を教務課に提出する。
2. 履修届提出期間は、授業開始の日より10日間とする。
3. 学生が、いったん履修届を教務課に提出した後は、登録変更は認められない。
4. 履修届用紙は正副2枚とする。正は教務課が、副は学生が保管するものとする。
5. 外国語科目の英語や、体育実技、専門科目の英文講読、ソルフェージュ、器楽（ピアノ）などの科目の登録の仕方は、別にこれを指示する。
6. 不合格のため再履修する授業科目を登録するとき、授業科目名の右肩に「再」（朱書）と記入する。
7. 不明瞭に記入された授業科目についてはその登録を無効とする。
8. 登録しない授業科目の受講は認めない。

履修登録に関する一般的注意

1. 履修登録は、年間の受講計画を立て、試験を受けて単位を取得する意志を表示するものである。
2. 一旦登録した科目については、原則として変更・追加は認めない。また、登録していない科目については、試験を受けられないし、単位も取得できない。したがって、履修科目の登録にあたっては、資格取得および卒業時の単位算定を十分考慮に入れて2～3科目程度を余分に登録し、万全を期すことが望ましい。
3. 時間表については、ときに若干の変更・訂正がなされるから、事前に、掲示板に掲示してある訂正授業時間割表で、とくに担当教員・曜日・時限等確かめてから登録すること。もし不明な点があれば、教務課にて、履修登録に関して質問すること。

注 意 事 項

(1) 掲示板は常に注意すること

学生への連絡はすべて「掲示」によって行なう。

休講、レポート提出、試験、履修方法の注意や変更、室・時間割の変更・訂正などいずれも重要な事項をその都度掲示するので、絶対に見落しのないように、必ず毎日掲示を見ることを各自の習慣とする必要がある。見落したばかりにレポートの提出が遅れたり、試験を受けそこなったりして、そのため単位が認められず、なかには卒業ができなくなることもあり得るので、必ず自分で確かめること。

(2) 提出期限の厳守

履修登録、レポート、その他各種の提出期限は、よく注意してその期日を厳守すること。

(3) 問 い 合 せ

事務局への電話による問い合わせ（行事予定、休講、授業及び試験その他に関すること）等々には、誤りを生じ易く事務上の支障もきたすので一切応じられない。

必要なときは登校のうえ、掲示を見るか、関係事務局窓口で確かめること。

(4) 欠席・休学等について

欠 席 長期（1カ月以上）欠席をした場合は、その事由及び期間を記入した欠席届を教務課に提出すること。

休 学 病気その他やむを得ない事情により、3カ月以上修学することができない者はその学年の終わりまで休学することができる。ただし休学期間は在学期間に算入しない。

変更届 （住所・氏名・保証人）等に変更のあった場合はすみやかに届け出ること。

欠席・休学・退学及び変更届等の届出もしくは願を提出するときは教務課備付の所定の用紙を用いること。

奨学制度について

① 日本育英会奨学資金

日本育英会の規程に基づき、学業人物ともに優秀で、かつ健康であり学資の支弁が困難と認められる者に対しては、選考のうえ奨学金が貸与される。

募集時期 5月（第1次募集） 11月（第2次募集）

貸与月額 11,500円 または13,500円

- ・出願時期、要領については掲示等により通知するので、希望する者は育英会所定の願書用紙の交付をうけ、必要事項を正確に記入して提出すること。
- ・採否の決定、学長が推せんした者について日本育英会が採否を決定し、学長を経て本人に通知する。

② 栃木県修学資金貸付

卒業後、保母として、県内の児童福祉施設等に勤務しようとする者に対し、月額7,000円を2年間貸与する制度があります。なお、へき地保育所または児童福祉施設などに、卒業後1年以内に勤務し、引続き3年間児童などの保護に直接従事したときは、この資金の返還は免除されます。

- ・出願時期、要領については掲示等により通知する。

学生の自治活動について

学生の自治活動は、大学の課外の教育活動として、学生の自律性の涵養、社会性の陶冶、学生相互間の交流啓蒙を目的として、豊かな実り多い学園生活をおくることができるように運営されるべきです。大学はかかる教育的観点から学生自治会には積極的な応援を行っています。すなわち、学生自治の本旨とする下記の点をよく心得、全学生が活動に参画して、建学の精神に則り、民主的ルールに従った合理的運営による活発な活動を期待するものです。

- (1) 大学の学園を場とする活動である。
- (2) 大学の秩序を維持し、その範囲内で行なう活動である。
- (3) 学生自治の本旨に添い、各人が自治会規約を尊重し、自主性判断をもってその運営に積極的参加し、自主的判断力を養い、責任ある態度を身につける。

(自治会会則は、別に自治会の役員から配布されます。)

ク ラ ブ ・ 同 好 会

学生が正規の課程外で、自発的に小集団を組織して学術・文化・スポーツなど各方面にわたる活動をもって、自己の知識・技能を磨き、学生相互間の親睦を図ることを目的とするものです。学業に専念したいがためにクラブ活動に入らないということもあるわけですが極力参加するよう心掛けてください。また、参加しようと思うクラブがない場合、同好会人たちが新たにグループをつくるのもよいでしょう。

現在、クラブには下記のものがあります。

<文化関係>

幼児画研究会

落語研究会

E・S・S（英会話）

箏 曲

書 道

映画研究会

放送研究会

フォークソング

写 真

<体育関係>

卓 球

バドミントン

硬式テニス

柔 道

バスケットボール

日 光 セ ミ ナ ー ハ ウ ス

日光セミナーハウスは、ゼミナールを中心とする教職員と学生が規律正しい研修をするための研究と教育の施設です。

決められた時間のなかでの規律正しい生活、話し合いやレクリエーションなどによる楽しい仲間づくり、講義、討論などによる、みのり多い研修を生活のねらいとします。

使用規定（抄）

- 1 資 格 本学教職員、本学学生
- 2 人 員 原則として5名以上とする。
- 3 期 間 日帰り、または2泊3日以内とする。
- 4 申込場所 大学事務局。
- 5 申込期日 使用する日の7日前までとする。
- 6 開所時間 午前9時より午後5時までとする
宿泊の場合は翌朝10時までとする。

そ の 他 政治的・宗教的に中立でもっぱら営利を目的とする活動を行わない研修であること。

詳しいことは「日光セミナーハウス」しおり参照の事。（事務局にあります）

各種証明書の発行と願・届書

種 類	管 轄	手 数 料	備 考
住所・氏名変更届 保 証 人	教 務 課	0	
休 学 願	〃	0	
退 学 願	〃	0	
復 学 願	〃	0	
欠 席 届	〃	0	
学生証再交付願	学 生 課	100	翌日交付
通学証明書	〃	0	翌日交付
学生割引証	〃	30	翌日交付
在学証明書	教 務 課	100	翌日交付
成績証明書	〃	200	翌日交付
教員等資格取得(見込) 証明書	〃	100	翌日交付
卒業(見込)証明書	〃	100	翌日交付
施設設備使用願	総 務 課	0	1週間前に提出のこと
学外団体参加願	学 生 課	0	〃
学生団体結成願	〃	0	決済に1カ月必要
印刷物発行許可願	〃	0	〃
掲 示 許 可 願	〃	0	1週間前に提出のこと
集会(催物・行事)許可願	〃	0	2週間前に提出のこと
校外活動許可願	〃	0	〃
対外試合許可願	〃	0	1週間前に提出のこと

注 これら願・届書の受付はすべて学生窓口で行なう。

授業科目表の見方

必2 必修で2単位の科目 } 前期あるいは後期のみが開講される授業
 選2 選択で2単位の科目 }

必通2、選通2 } 通年(1年を通じて)開講される授業
 必4、選4 }

授 業 科 目 表 (別表)

区分		授 業 科 目 名		履 修 年 次		卒業に必要な最低単位
				1 部	2 部	
一 般 教 育 科 目	人文科学系	哲 学 選2	の う ち 2 科 目	1・2	1・2・3	4 単位以上 教員免許状を取得する場 合は哲学必修
		歴 史 選2		1・2	1・2・3	
		文 学 選2		1・2	1・2・3	
音 楽 選2		1・2		1・2・3		
美 術 選2		1・2		1・2・3		
教 育 科 目	社会科学系	法 学 必4 (日本国憲法を含む)	の う ち 2 科 目	1	1	6 単位以上
		経 済 学 選2		1・2	1・2・3	
		教 育 学 選2		1・2	1・2・3	
目	自然科学系	心 理 学 選2	1・2	1・2・3	6 単位以上	
		自然科学概論 必4	1・2	1		
		数 学 選2	1・2	1・2・3		
外 国 語		生 物 選2	1・2	1・2・3	6 単位以上	
		統 計 学 選2	1・2	1・2・3		
		英 語 必4	1	1		4 単位 幼児教育科のみ
		ド イ ツ 語 選4	1・2	1・2・3		4 単位 英語科必修 幼児教育科自由選択
フ ラ ン ス 語 選4	1・2	1・2・3				
保 健 体 育	理 論	保健体育講義 必1		1	1	1 単位
	実 技	体 育 実 技 必1		1	1	1 単位
専 門 科 目	各科の指定する必修科目及び選択科目					英語科 50 単位以上 幼児教育科 60 単位以上
教 養 特 別 講 義	ゼミナール(心理学・視聴覚・造形A・造形B・自然観察・デューイ研究・女教師の歴史・イギリス小説、ジェイン・オースティン研究)などを開講するので、いずれか1科目選択履修すること。					自由選択 2 単位

卒業するために必要な科別専門科目単位数

英語科

区分	授業科目名	履修年次	卒業に必要な単位数
専門科目	英語学 必 4	1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2	36単位
	英語音声学 必 4		
	英文法 必 4		
	英文講読Ⅰ 必 4		
	英文講読Ⅱ 必 4		
	英文学講読 必通 2		
	英米文学演習A 必通 2		
	英文作法 必 4		
	オーラルイングリッシュⅠ L 必通 2		
	国語表現法 必 2		
専門科目	英語学演習 選通 2	2 1 2 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 1 2	14単位以上
	英文講読A 選通 2		
	英文講読B 選通 2		
	英文講読Ⅲ 選通 2		
	英文学史 選 4		
	米文学史 選 2		
	英米文学演習B 選通 2		
	オーラルイングリッシュⅡ L 選通 2		
	時事英語 選通 2		
	言語学 選 2		
	商業英語 選通 2		
	タイプライティングⅠ 選通 2		
	タイプライティングⅡ 選通 2		
教職専門科目	教育原理(中) 必 2	1 2 2 1 2 1	10単位以上
	教育心理学 必 2		
	英語科教育法 必 2		
	道徳教育研究 必 2		
	教育実習 必 2		
	青年心理学 選 2		

幼児教育科

区分	授 業 科 目 名		履 修 年 次		卒業に必要な 単 位 数	
			1 部	2 部		
専 門 科 目	音楽Ⅰ (理論)	必通 2	2	2	50 単位	
	音楽Ⅱ (ソルフィージュ)	必通 2 (甲)	1	1		
	音 楽 (器楽)	必通 2 (乙)	1 2	1 2		
	美 術 工 芸 Ⅰ	必 2 (甲)	1	1		
	体 育	必 2	2	2		
	社 会 福 祉 Ⅰ	必 2 (甲)	1	2		
	児 童 福 祉	必 2 (甲)	1	1		
	小児保健 (実習)	必 1 (甲)	2	2		
	小 児 保 健 Ⅰ	必 4 (甲)	2	2		
	精 神 衛 生	必 2 (甲)	1	2		
	小 児 栄 養	必 2 (甲)	1	2		
	小児栄養 (実習)	必 1 (甲)	1	2		
	保育内容研究	} 23科目				
	健 康		必 2 (甲・乙)	1		3
	社 会		必 2 (甲)	2		2
	自 然		必 2 (甲)	1		2
	言 語		必 2 (甲・乙)	1		2
	音楽リズム		必 2 (甲・乙)	1		3
	絵画製作		必 2 (甲・乙)	2		2
	教育原理 (幼)		必 2 (甲)	1		2
保 育 原 理 Ⅰ	必 4 (甲)		1	1		
児 童 心 理 学	必 2 (甲)		1	1		
教 育 心 理 学	必 2 (甲)		2	2		
教 育 実 習	必 4		2	2 3		
社会福祉Ⅱ	選 2 (甲)		2	3	10 単位 保母資格取得 に必要な単位 である。	
養 護 原 理 Ⅰ	選 2 (甲)		1	2		
乳 児 保 育 Ⅰ	選 2 (甲)		1	1		
保 育 実 習	選 4 (甲) (A)		2	2 3		

区分	授 業 科 目 名	履 修 年 次		卒 業 に 必 要 な 単 位 数	
		1 部	2 部		
専 門 科	美 術 工 芸 II 選 2	の うち 2 科 目	2	3	4 単 位 以 上
	児 童 文 学 選 2		2	2	
	視 聴 覚 教 育 選 2		2	3	
	環 境 衛 生 選 2		2	2	
	居 住 学 選 2		1	3	
	育 児 学 選 2		2	2	
	教 育 史 選 2		2	2	
	日 本 の 自 然 選 2		1 2	3	
目	保 育 原 理 II 選 2 (乙)	の うち 3 科 目	2	3	6 単 位 以 上
	養 護 原 理 II 選 2 (乙)		2	3	
	小 児 保 健 II 選 2 (乙)		2	3	
	家 庭 管 理 選 2 (乙)		2	3	
	養 護 内 容 選 2 (乙)		2	3	
	乳 児 保 育 II 選 2 (乙)		2	3	
	青 年 心 理 学 選 2 (乙)		1	3	
	乳 幼 児 心 理 学 選 2 (乙)		2	3	
	臨 床 心 理 学 選 2 (乙)		2	3	
	保 育 実 習 II 選 2 (乙)		2	3	
	保 育 実 習 III 選 2 (乙)(C)		2	3	

授業科目の講義内容

一般教育科目

(人文科学系)

【哲 学】	選択2単位	福 富 啓 泰
(1) 哲学とは何か		
1 哲学の語義と心理的起原	2 哲学的知の特性	
3 哲学と科学の関係と相違	4 哲学と芸術の比較	
5 哲学と宗教の差異	6 哲学の定義の変遷	
(2) 包 括 者		
1 主観・容観分裂	2 包括者	3 包括者の様態
4 現存在から実存へ	5 実存と超越者	6 超越者と暗号
(3) 神 の 思 想		
1 神とは何か	2 神観念の進化	3 神信仰の方法的原則
4 人格神と超越者	5 哲学的神信仰	
(4) 不 幸 と 悪		
1 その事実	2 悪と神のジレンマ	3 運命論
4 悲観論と楽観論	5 不合理からの自由	
(5) 歴 史		
1 歴史とは何か	2 歴史的事実の解釈	3 歴史の始元と終末
4 歴史の意味		

【歴 史】	選択2単位	高 井 浩
-------	-------	-------

(前期) 幼児教育科

児童は昔からどんなふうに生活してきたのであろうか、それぞれの時代、それぞれの土地、それぞれの社会や文化のもとで児童はどのように生活し、また、その家庭から、あるいは社会からどのようにみられ、どのように教えられてきたか、という問題をひろく内外の歴史にもとづいて勉強してみることにする。

【哲 学】	選択2単位	軍 司 敏
-------	-------	-------

哲学は「真理」の問題をぬきにしては語れない。いわゆる人生観、世界観も、真理をどのように考えるかによってさまざまに分れる。本年度は近世哲学の基を築いたデカルトをとりあげながら、さまざまな真理観を考えてみたい。そしてこのことを通じて物事を全体的に把握する力を養いたい。参考書はその都度とり上げるつもりである。

【文 学】

選択2単位

稲垣 一穂

◎ 近代小説の「語りかた」（＝話法）

近代小説とは、芸術小説（ノベル）、大衆小説（ストーリー）、私小説、恋愛小説、新聞小説、物語小画、テレビ小説、劇画などを含み、印刷、複写、放送、アニメーションなどマスコミ技術により、社会生活に深く根をおろしている小説文学一般を指す。

古典的な小説（物語）の話法は、文法としては、三人称単数過去形を用いる。日本の「今昔物語」でも、「むかし男ありき」から始まる。文法上では、歴史的出来事の記録のように過去のある時点に定着していて、現在とはある一定の時間的距離を保っているように思われる。しかし、物語を読んだり聞いたりしている読者や視聴者の立場からすれば、物語れる想像（仮象、仮構）の世界における進行中の現在だと受取っている。だから物語の過去形（未完了過去形）は、現実から切離して小説の世界へ導く方法だという。ほかに、歴史的現在という方法も知られている。近代小説では、自由間接話法、内面独白法、体験話法などが盛んに使われる。「彼女は二度と彼に会うまいと決心した」のような叙述法である。また、アメリカ映画の叙述法がヘミングウェイやウルフなどに影響したことや、「声の一人称」「非人称小説」の起っていることなどに触れる。

テキストは中村光夫「小説入門」（新潮文庫）。参考書は、そのつど指示する。

【音 楽】

選択2単位

武山 信治

講義目標

音楽現象は、人間の存在と生成にどのようなかゝりをもつものであろうか。この問題をつぎのように考えてみたい。

音楽は、人類の長い歴史における「生」の営みの中で、音素材を通して形成された芸術表現の一つとしての、創造的な実践行為であり、そこには、さまざまな種別や様式による構造と機能をにない、また特徴づけられながら、それ自身の存在と生成を果しているのである。

そこでわれわれは、そうした種別や様式の相違として現われる創造の根拠としての、人間精神の構造と芸術意志に突きあたることとなり、それに立ち向うことよっての解明にこそ、自己自身の存在の意義と生成への道を発見し、自覚することになるであろう…と考えるのである。

講義内容

1 世界の文化圏における民族音楽の概要

◎各種の民族音楽の実践形態における、その内容としての風土・気質・制度・風俗慣習などが、音楽の構造上どのような特徴として表現されているかの比較音楽的考察。

2 ヨーロッパ音楽の歴史的形成過程の概観

◎ヨーロッパ古代・中世・近世・近代の音楽の概略を、その時代・社会・流派・個人などの観点より、様式史的に把握るとともに、そこには人間における個人意識の覚醒と

いう流れのあることに気づかせたい。

3 音楽の構造・機能と芸術意志との関連

◎音楽行為において、その機能と効用（生理的・心理的・美的・社会的・宗教的など）は、音楽の素材と形式要素をどのように限定し、また形成したかの問題より、その音楽体験における内面意識の志向性（芸術意志）を、分析し考察してみたい。

・備考一資料・音盤などを使い、なるべく具体的に講義をすゝめたい。

- 参考図書
- | | | |
|-----------|-------|---------|
| 1. 基本音楽史 | 千蔵八郎著 | 音楽の友社発行 |
| 2. 音楽心理学 | 関 計夫著 | 全 上 |
| 3. 音楽美学講話 | 野村良雄著 | 全 上 |

【美 術】 選択2単位 稲垣一穂

近代美術を主にして、スライドを使い講義を進める。

使用テキスト 「近代美術の見方・考え方」 稲垣一穂著 理想社

(社会科学系)

【法 学】 必修4単位 小栗久

最初に法学の基本構造を概観した後、われわれの日常生活に深い関係のあるいくつかの問題をとりあげこれを各項目に分けて解説を加え、それを通じて現代の法秩序につき一応の理解が得られるよう努める。したがってまずわれわれの生活にとって身近な私法ことに身分法の問題をとりあげ順次公法に及ぶことにする。

殊に国法の根本である憲法については、日本国憲法の基本的性格についてはその歴史的由来を明らかにするとともに、基本的人権の保障、民主主義、平和主義の三大支柱を明確にしたい。

【法 学】 必修4単位 蔡柱国

I 講義項目

- 第一章 法の概念 一、社会と規範 二、規範の諸型態 三、法と道徳 四、法と強制
五、法の目的 六、法と権利
- 第二章 法の適用 一、法と裁判 1,裁判制度 2,裁判の基準 二、法の解釈 1,法解釈の方法 2,法解釈の必要性
- 第三章 法の体系 一、法の分類 二、国家と法 三、犯罪と法 四、家族生活と法
五、財産と法 六、労働と法 七、国際社会と法
- 第四章 法の発展

II 講義の重点

- 一 社会規範である法、道徳、慣習と条理等の関係を解明し、法の性質を明かにする。
- 二 裁判制度、裁判基準並びに法の解釈を究め、^{せん} 実際生活における法の適用を闡明する。

三 法の種別を整理しながら、法の体系を把握し、社会人として持つべき法学全般の知識を考察する。

【経済学】

選択2単位

沖津直

近代経済学には、大別して、ミクロ経済学とマクロ経済学とがあります。歴史の流れからみると、前者は、演繹性の濃い理論で、非常に緻密な論理の一貫性を持っております。

しかし、現代に至って、そのいくつかの前提に非現実的なものが含まれており、その欠点を補うものとして、後者が登場するに至りました。経済学を学習する場合、どちらから始めてもよいと思いますが、経験科学としての経済学の理論体系は、マクロ経済学が全体の骨組みを構成し、その完成を補うものが、ミクロ経済学と言えます。もちろん、両者が非常に密接に関連していることは、言うまでもありません。

本講義では、マクロ経済学の中心である国民所得分析を中心として、授業を進めていきたいと思う。

【教育学】

選択2単位

桑原作次

憲法と教育との関係を中心にして、教育における憲法的原則を明治以来の歴史の中で明かにしたい。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 教育の時代 | 2 明治憲法と教育勅語 |
| 3 戦後の教育改革 | 4 憲法の思想 |
| 5 教育基本法の諸原則 | 6 教育の矛盾と解決の方向 |
- 教育改革の課題—

【心理学】

選択2単位

和気洋美

心理学は、人間の「こころ」や「行動」についての事実を解明し、法則を確立しようとする学問である。従って、行動の客観的な観察や、実 による条件の分析が重視される。本講では、これまでに得られた知見を概説するとともに、それらが導かれた過程を跡づけたい。スライドその他のデモンストレーションを駆使し、随時心理実験やテストを実施する。レポートを重視する。テキストは開講時に指示する。

【自然科学概論】

必修4単位

松原元一

いくつかの参考書をあげてみよう。自然科学的認識がどのような根拠によって可能となるかということに注目したわが国で最初の書物は、

(1) 田辺 元 科学概論 1918年初版 岩波書店
であろう。それから10年おくれで

(2) 石原 純 自然科学概論 1929年初版 岩波書店

が出ている。この2つの名著はすでに古典といえようが、最近のおびたしい諸著作に比

べて、やはり光っているのである。外国のものでは、

- (3) ポアンカレ 科学と仮説 1902年 岩波文庫
- (4) ポアンカレ 科学の価値 1905年 岩波文庫
- (5) ポアンカレ 科学と方法 1908年 岩波文庫
- (6) ポアンカレ 最近の思想 1913年 岩波文庫
- (7) ポアンカレ 科学者と詩人(絶版) 岩波文庫

および、ラッセルの数理哲学序説(岩波文庫)をはじめとする一連の書物があるが、ラッセルの本は、今、私の手許にはどうしても見当らない。

(8) ホワイトベッド(藤川吉美訳) 自然認識の諸原理 1919年 東京図書
も定評がある。新しい書物も多い。たとえば

- (9) 井尻正二 科学論 1966年 築地書館
- (10) 大学自然科学 科学概論と自然科学史 1959年 東京学芸大学
教育研究会

などがある。(10)は大学の一般教育のテキスト用の趣がある。しかし、古典には内奥からの鋭い考察が感じられるので、私は(4)または(5)の本を学生諸君とともにじっくり読んでいきたいと思う。漢字に制限がなく旧仮名づかいであるため読みにくい、じっくり読むにはかえって好都合かも知れない。

【数 学】 選択2単位 松原元一

- (11) 東京学芸大学一般 数の教養 岩崎書店
教育研究会編

の内容に添って、数の構造を通して数学とは何かということを考えていきたいと思う。この本はテキストとしてもっていてもよいし、もたなくてもよからう。参考書としては

- (12) 弥永昌吉 数の体系(上)(下) 岩波新書

をおすすめする。

【生 物 学】 選択2単位 中島吾一

- A. 細胞遺伝学、遺伝と環境、遺伝の法則、メンデルの法則、非メンデル性遺伝、透伝子の線状配列、連鎖遺伝、染色体、染色体地図、性の決定、性染色体、性遺伝子と性染色体、性染色体の変性、性の発現における常染色体の意義、間性、雌雄同体、性モザイク、単為生殖、性の転換。
- B. 変異、彷徨変異、突然変異、自然突然変異、性細胞突然変異、体細胞突然変異、染色体突然変異、倍数性、異数性、核型分析、ゲノム分析、人為突然変異、種類頻度、誘発原、
- C. 人類遺伝学、正常形質および異常形質の遺伝、人類の染色体、免疫遺伝、生化学遺伝、心理遺伝。

D. 応用遺伝学、育種学、動物育種、貴化法、植物育種、交雑育種、ヘテロシスの利用、突然変異の利用、放射線育種、優性学。

【生 物】 選択2単位 樋口弘道

—自然界のバランスを中心にして—

今日、全国各地で、又世界各地で自然保護が叫ばれておりますが、これは自然界のバランスが崩れたことを意味しております。

本講義では、植物と動物からなる最も複雑な生活共同体の一つである森林をとりあげ、そこに住む動・植物の生活のしくみをみ、自然界のバランスをとらえ、合わせて自然保護という問題も考えていきたいと思う。

尚、教科書は使用しないが、参考資料として堀田満著「日本列島の植物」（保育社¥330）を各自手にすることが望ましい。

【統 計 学】 選択2単位 沖津直

現代統計学には、主として記述統計学と推測統計学の2つの領域があります。前者は、データを整理して、全体としての傾向を記述するのが主眼点です。一方、後者は、研究の対象である集団から抽出したサンプル（標本）をもとにして推論を進め、母集団の性格なり傾向を推測していくものです。統計学には、それ独特の考え方があって、ひとたびそれを理解してしまうと、この考え方は、非常に、常識的な考え方と類似しているのがわかります。統計学を学ぶ場合、普通、エレメンタリーコースで年間必要であります。ここでは、半年でありますので、特にテーマを絞って、統計学という学問がどういうものかを理解できるように、授業を進めたいと思う。

外国語科目

【英 語】 必修4単位 青山米蔵

昭和52年度幼児教育科1年C組・D組のテキストには、G. Orwell のAnimal Farmを使用する予定です。講義には次の2点に留意します。

1 幼児教育科の英語を3年間担当しましたが、学生諸君の一般的弱点は発音の不正確なことです。高校の英語教育が受験に偏っていて、発音などあまり注意しないのでしょうか。1年間といっても僅か30回の講義ではあまり多くを望めないでしょうが、とにかく正しい発音を身に着けるに心掛けてください。

2 英文講読というと、どうしても和訳にとらわれがちですが、あまりtranslationの結果にこだわらず、むしろそれに到るプロセスを重視する方針をとります。

なお、クラスでは普通高校出身者と実業高校卒業生が一諸になりますが、どうしても後者は英語の力が不足していることが多いので、とくだんの勉強をお願いします。

【英 語】 必修4単位 和気洋美

幼教の皆さんが、将来、現場で役立てることのできる“こども”についての知識や、楽しく平易な物語などに関する英文教材を講読し、皆でディスカッションしたり、絵本や紙しばいの製作をしたりする。

【ドイツ語】 選択4単位 伊藤安二

イ、ロ、ハから始めて進めるまで…。

【フランス語】 選択4単位 峰岸義雄

1つの外国語をマスターすることは、1国・1城を攻略するに等しいと、よく言われる。

第2外国語としてフランス語を学ぶことは、単にフランス文を読み、フランス人と話せるようになることだけが目的ではなく、広くフランスを知りフランス文化に通ずることが目的であり、延いては、私どもが日本をよりよく知り、日本語や日本文化の特質を一層深く理解するようになるためでもある。

そう言った立場にたつて、前期では、簡明なフランス文を中心にして、フランス文法の概要を学びたい。フランス語習得の難関の1つである動詞の変化は、毎回1つずつ学ぶように心がけたい。そしてできれば、皆さんの既習の英語の知識を100パーセントに活用してやってみたいと考えている。

こうして後期に入ってきて、興味ある読み物を、字引片手に読解できるようになれば、皆さんの喜びもひとしおのことだろうと思う。

保健体育科目

【保健体育】

必修1単位

田城清三郎

- 1 概論＝体育、スポーツ、レクリエーション等の意義を検討する。
- 2 心身の発達の概略を調べてみる。特に幼児期を中心にみる。
- 3 運動（スポーツ）の歴史的沿革を史的事実を中心に、さらに思想家の体育観とその実践について調べる。原始、古代の運動、中世近世の運動、近代の運動、現代の運動の主要な発展過程をも検討する。

さらに時間的に余裕があれば次の諸項目について調べてみる。

- 4 体力について測定し各自自己の体力の実験にも資したいと思う。
- 5 運動生理について身体的変化、運動のエネルギー代謝、疲労、栄養等の関連にも注意して検討を加える。
- 6 疾病と運動、健康な生活について個人衛生、公衆衛生、労働衛生、精神衛生等に関連して検討する。

【体育実技】

必修1単位

田城清三郎

専門教育科目

—英語科—

【英語学】 必修4単位 萩原文彦

本年度は新構想のもとに口述筆記の形式をとる。内容は前期に主として英語の歴史について、後期においては英語学研究の理論と実践について概説する。学生が受身の姿勢になることのないよう、できれば毎回問題を提起して、聴講者からの協力をえる方法をとりたいと思う。ノートの他に所定のレポート用紙を用意すること。

【英語音声学】 必修4単位 松本 薫

本講座の目標は、英語の発音の仕組みを学び、英音を発音記号で表記して意識的に自己の発音の改善を行なえるようになることにある。

General American と呼ばれる米語標準音を目標とするが、出発点は日本語の相当音に置いて、日本人として最も効果的な練習ができるようにする。日本語との比較はたえず行なう。

学習の段階は、母音に始まり子音に進む一般的なものであるが、連音、語文のアクセント、イントネーションと言った単音以外の重要項目にもかなりの時間をあてたい。

最終的には発音記号の表記をマスターしてもらいたいのだが、記号など何の価値もないのではという疑問に対して、発音の自習の際に自己の発音を意識的に矯正するには不可欠な道具であることを強調したい。

理論的なことも多く説明されるが、要は実行面なので、学生諸君の自習に期待するところが多い。それには附属する録音テープの利用をすすめたい。

テキスト：大塚高信監修 『米会話発音教本』 南雲堂発行 650円

【英文法】 必修4単位 萩原文彦

使用テキスト 小野達・小泉保著 「新英文法」 定価720円

英文法を学んだからと言って、すぐ英語が話せたり書けたりするものではない。英語を使わなければならない。そういうことも加味して研究実践してみたい。

【英文法】 必修4単位 本多俊男

教科書は松柏社刊、小野・小泉両氏の「新英文法」を使用する。本書は高校文法書をやや詳しくした程度のもので、下調べにも習得にも骨が折れるようなことはないと思う。高校の教科書を参考しながら、反復読み返えして英文法の概要を頭に入れてほしい。

【英文講読Ⅰ】 必修4単位 向井千代子

テキスト：STUART LITTLE (by E・B・White) 研究社

E・B・ホワイトは現在活躍中のアメリカの作家で、彼の他の作品、例えば“The Trumpet of the Swan”などから見ても、自然や動物に対する愛情の深い作家である。リトル家に生れた小ねずみシュアートの冒険の数々を楽しんで読みましょう。

【英文講読Ⅰ】 必修4単位 中島慎一

テキストはW・S・Maughan 著 Cosmopolitans 朝日出版社 ￥320

このテキストには8つの短篇が含まれているが、いずれも非常に気楽に読むことが出来て実にきびきびした文体の中に、モームのもつおもしろさが織りなされている。

【英文講読Ⅱ】 必修4単位 本多俊男

昨年古めかしい文体に苦しめられたから、今年はぐっと趣向をかえて、英光社刊Stories of Detention and Mystery を読んでみようと考えている。最初のChristie のものなどなかなか面白く、下調べにも張合があるだろう。訳本を探そうなどと考えずに、辞書をひいて意味をとる勉強をするようにしてほしい。

【英文講読Ⅱ】 必修4単位 向井千代子

テキストとしては“Someone Like You” by Roald Dahl(興文社)と“Listening Comprehension Practice” [文理] の二つを用いる。R・ダールは現在アメリカで活躍中の短篇作家で、その軽妙な語り口、意外な結末はいつも読者に新鮮な驚きと喜びを与えてくれる。もう一つのテキストは、発音の練習とヒアリングの訓練を目的に作られたもので、二つのテキストを適宜おりまぜて一年間の授業を組立てて行くつもりでいる。

【英文学講読】 必修2単位 中島慎一

テキストはW・S・Maughan 著THE COLONEL'S LADY 英宝社 ￥750

内容は4篇からなりその4篇は、いずれもCreatures of Circumstance から取られたもので、筋の展開、簡潔な描写、見事な落ち、全く間然するところのない好短篇であるので、学生諸君の学習意欲をそそるのに充分である。

【英文学講読】 必修2単位 通年 本多俊男

研究社刊、Hardy のAlicia's Diary を使用したい。本書は畏友清水貞助氏の注が詳細を極めている上に、Hardy のものうちでは女子学生には最も興味のあるものの一つであるから、一年かかれば楽しく読破できると思う。

【英米文学演習A】

必修2単位 通年 萩原文彦

使用テキスト：Erich Segal 著 Love Story

英光社 定価700円

【英米文学演習A】

必修2単位 通年 本多俊男

北星堂刊、HawthorneのTwice-Told Tales を読むことにしたい。むずかしいものを表皮だけ撫でまわし、不消化のまま終わるのは感心しない。この物語りはいずれも興味深いものでそうむずかしくないから、一年次生の読物として適当であると思う。

【英文作法】 [English Composition] 必修4単位 星野一男(Kazuo Hoshino)

This course is to help students practice using English orally as well as in writing. They are encouraged to acquire enough proficiency in the language to enable them to express themselves passably in easy present-day English. More emphasis is placed on fluency and intelligibility than on strict grammatical accuracy. Students should familiarize themselves with the ways of thought generation peculiar to English and foreign to Japanese. For this purpose, sample pieces of English writing will be provided so that students may imitate these and get a general idea of what English expression is like. In translation, as a means of using English, students are advised not to be concerned with the structure of Japanese sentences but to aim at getting the ideas expressed therein.

【英文作法】

必修4単位

中島慎一

テキストはSystematic Practice in ENGLISH DIALOGUE and COMPOSITION KK文理 ¥650

このテキストは従来の偏りがちな英文法と違って日本の大学生が英米人と接触した時に本当に役だつ表現が出来るよう、段階的・体系的に工夫し編成されておるので充分析英文作法の目的が達せられるものと思っている。

【オーラルイングリッシュⅠ】

必修4単位 通年

Matthew J. Shak

【オーラルイングリッシュⅡ】

選択2単位 通年

Matthew J. Shak

The object of the course is to facilitate the general speaking ability of the students and, at the same time, to increase the student's comprehension of spoken English. With this constant goal in mind, this course is planned to emphasize meaningful oral communication in English on all levels. And while in the classroom, only English, the target language, will be constantly used by both teacher and students, so that each student will not only

receive maximum benefit from continuous exposure to contextually spoken English but will also have ample opportunity to use English in reinforcing situations. This will permit the student to actively and passively retain for future use the essence of what has been created.

【国語表現法】 必修2単位 森 昇 一

近代日本の「文章表現」について、その試行錯誤や紆余曲折の跡を、明治初頭来の論文論説を通じて講じたい。

具体的には、ローマ字論、カナ書き論などの国字問題、さらに大きく英語採用論などの国語問題にまで論をすすめる。

テキスト 資料近代文章史—論文・論説篇—

大島田人、河村清一郎、八角真編 桜楓社刊

【英語学演習】 選択2単位 通年 萩原文彦

使用テキスト Peter Milward 著: *English—Right and Wrong* (英語の正誤診断)

研究社発行 定価500円

20年以上日本の大学において英文学を教えてきた著者の日本人学生に対するユーモラスな随筆は興味つきないものがある。ことしもこれを使用する他に、随時手に入る資料について英語学的に検討をしてみたい。できればLL教室も使用する。

【英文講読A】 [English Text Reading] 選択2単位 星野一男(Kazuo Hoshino)

The type of English given here will be an up-to-date one, not something of the good old days, which has been so prevalently tinkered with by would-be academics. Students should realize that reading is different from translation and that they should try to understand English at first hand. In reading activity, they are to be encouraged to get rid of the conventional habit of resorting to Japanese translation and to try to develop an ability to get the ideas of what they are reading without getting involved in grammatical theorization. The course will be conducted mainly in English, with occasional use of Japanese where students have difficulty in comprehension.

【英文講読A】 選択2単位 通年 小沼博義

本講座の内容は、英検の3、2、1の各級の習得を目的としたい。前期は3級と2級を、後期は1級を習得したいと思う。ただし、単なる英検英語的な事項の暗記には

したくないので、カセットでのヒアリングを中心にしたい。

Text は後から指定する。

【英文講読B】

選択2単位

小沼博義

本講座では、現代英語の習得を目的とする。Japan Times に載っている記事、すなわち政治、経済、社会、文化、スポーツ、広告、評論等を読めるような、語句をふやすことが主たる内容で、Newsweek, Time 等の雑誌も用いたい。同時に、カセットでこれらの事項を聞く力もつけたいと思う。内容は、全てコピーとして、1週間前に渡したいと思う。

【英文学史】

選択4単位

枝村吉三

中世から現代まで、1,000年にわたる英文学の歴史を1年間にたどるためには、重点的に話を進めてゆく外はない。それで、各時代の代表的な主要作家の代表作を、大体、年代順に取り上げてゆく。そして、各時代それぞれ特色を異にしながら、全体を通して連続したもののあることを見きわめたいと思う。文学は人(民族、国民)、風土、時代などの産物でもあるので、英文学の背景としての英国の社会や思想などにも注目してゆきたい。

使用教科書については最初の授業時間に述べる。

【米文学史】

選択2単位

古川弘之

アメリカ合衆国は建国200年を迎えただけであるが、その植民地時代から今日までの文学をアメリカという国の風土や社会などと関連させてその変遷を考えてみたいと思う。作品に直接にふれることが大切なので邦訳のあるものは教室で紹介するが下記を資料として用意してほしい。 荒牧鉄雄他 『アメリカ文学読本』 開文社 ¥1,000

【英米文学演習B】

選択2単位 通年

中島慎一

英米文学演習Bは、H. E. BATES : THE GOLDEN ORIOLE and Other Stories を使用する。この本には(1) The Golden Oriole, (2) The World Too Much With Us, (3) The Ring of Truth. の3つの作品がもられねいる短編集であるが、いずれも1962年にかきおろされた極めて新しいものである。

第一の作品はユーモアとエロチシズムが巧妙に組みあわせて出来あがっているおもしろい作品であるし、第二は主人公がめんどりを愛するという異色のもので人生の淋しさ、わびしさを綴ったものである。第三はスリラー物語であるが何か心に満たされないものをもっている主人公が父の面影を追いつつ、その死因を探ろうとする作品であり、そのプロセスの中に描かれているすばらしいloveにひきつけられることであろう。

(英宝社 ¥660)

【時事英語】 (Current English) 選択2単位 星野一男(Kazuo Hoshino)

The term 時事英語 is used here to mean English as is used in current English newspapers and other periodicals. While major emphasis is laid on newspaper English, which has marked peculiarities of its own, fundamentally there is no difference between the English used in newspapers and that of ordinary use. Once one has gotten used to the peculiar ways English is used in newspapers, one will find no special difficulty in reading them with understanding. In this course, students are given actual news stories, articles, editorials, etc. from current English newspapers so that students may realize that English is a living thing, which should be treated as such. It is hoped that they will form a general idea of newspaper English as a basis for their further contact with English newspapers in their future life.

【言語学】 選択2単位 松本 薫

本講座は後期半年間のみで、言語学の基本事項の一部しか扱えないが、次の事項について略述する。

- 1 言語学と文献学（言語の共時的研究と通時的研究）
- 2 近代言語学の流れ（史的言語学から記述言語学へ）
- 3 人間のコトバの諸特徴
- 4 諸言語の歴史的関係（特に、印度ヨーロッパ語族について。更に英語の史的発展を含む）
- 5 世界の諸言語

テキスト：使用について未定

参考書：田中春美他著『言語学者門』 大修館 1,300円

【商業英語】 (Business English) 選択2単位 星野一男(Kazuo Hoshino)

This course aims at serving as an introduction to the type of English as is used in business. Students are supposed to have acquired a general idea of English in high schools. On this basis they are to learn how English is used in business transactions, advertisements, etc. Fundamentally, the English they have learned and the English they will encounter here are one and the same thing, but here they will find English used in many ways so far unfamiliar to them. The knowledge they will acquire here may be very limited and only elementary but such knowledge will, it is hoped, help them later when they may have occasions to actually tackle English in the business world.

【タイプライティングⅠ】 選択2単位 通年 向井千代子
「タイプライタ基準教本」(研究社)を教科書として用いる。基礎的なタイプライティングの技術の習得を目的とする。

【タイプライティングⅡ】 選択2単位 向井千代子
タイプライティングⅠで学んだ基礎の上に立って、更に技術的な向上をはかる。「英文タイプ技能検定試験問題集CDE」(日本商工出版)を教科書に用い、一分間三十語位打てるように勉強してもらいたい。

【科 学 史】 選択2単位 清水三千江
近代科学技術社会を導いた人間の思想思考の発展とこれに伴う一般人間社会の生活の変換を歴史的に平易な英語で講義の予定。
最近の科学論文をテキストにして出来るだけ正確で平易な英語表現を学ぶ事を主眼とする。

【言 語 学】 選択2単位 松本 薫
比較的容易な英文テキストを用い、英語学プロパーでは扱われないような言語の諸相のいくつかを観察し、言語一般についての理解を深める助けとしたい。

次の事項について略述する。

- 1 言語の諸特徴
- 2 言語の進化
- 3 言語の分布
- 4 英国英語と米国英語

テキスト：未定

参考書：田中春美他著『言語学入門』 大修館 1,300円

【英文講読Ⅲ】 選択2単位 沖津 直
この授業は、基本として、大学への3年編入をめざす学生のための講座であります、それ以外の学生でも結構です。

3年編入の道は、通常非常に狭く、大学入試で入学するよりも難かしいとされており、従って、これを突破するには、通常の努力以上のものが要求されます。その意味から言って、人一倍の努力と根気を持続していかなければなりません。

本講義を受講する学生は、その覚悟で履修することを望みます。

【ゼミナール】 向井千代子

—ジェイン・オースティン研究—

Jane Austen の “Pride and Prejudice” を読み、作品の鑑賞、その背景、作家とその時代背景などについて研究する。

テキスト：Pride and Prejudice (A Norton Critical Edition)

教職専門科目

【教育原理（中）】

必修2単位

桑原作次

1. 人間と教育

教育は人間の存在及び成長の根本に結付いていること。

2. 人間の成長過程

人間の成長には自然的側面と社会的側面があること。人間の成長は先天的条件と後天的条件に規定されること。

3. 成長と学習

人間は学習する動物であること。社会的成長は大きく学習に依存すること。学習には経験が重要な役割を果たすこと。

4. 幼童期

教育の可能性及び有効性にとって、児童期は重要な意味をもつこと。したがって、児童期は教育期ともいわれること。

5. 教育に対する権利

学習権は人間の生活及び成長のための根本的権利であること。教育は学習権を具体的に保障するはたらきであること。教育を受ける権利は憲法上の基本的人権であること。

6. 教育の目標

教育の目標である人間像は教育にとって、もっとも根本的な問題であること。教育基本法の人間像は日本の公教育全体の基本的目標であること。

7. 現代の学力

現代の公教育がめざすべき具体的目標として、現代に生きるための学力を考える。

8. 教育の内容

学力を身につけるための主要な内容を考える。

9. 現代の学校

10. 現代の教師

【教育心理学】

必修2単位

松山依子

教育課程としての教育心理学を、実践の教育の場で、応用し、自由自在に活用できるものになりたい。

心理学を始めて学ぶ学徒であっても、独立した、心理学の中の一分野として、学習しやすいように、教育心理学の意義、人間の成長、発達の面から論を進めたいと思う。

テキストを使用して、十分に、自由な学習が可能であるように配慮した。

学習内容としては、学習の心理、学級集団の心理、適応と学業不振、教育評価と人間理解、以上、4つの側面から、主として、講義形式で進める予定である。

実際の学級運営、学級管理、生徒の人間性の理解に、活用されるよう、時間に余裕がある場合には、テスト法についても、ふれたいと考えている。

【英語科連育法】

必修2単位

本多俊男

篠崎書林の「新説英語教育法—理論と実践—」を使用したいと思う。指導の実践面の記述が詳しいから参考になると思う。竹中治郎氏のものや宮田幸一氏のもの、その他も参考にして適宜補い、落ちのない指導をして行きたいと考えている。

なお来年度の教育実習を併せ考えると、1年の後期に英語科教育法を終わっておく必要があるので、1年の学生諸君はそうにご承知願いたい。

【道徳教育研究】

必修2単位

梅沢茂

1 中学校における道徳教育

- (1) 道徳教育の意義および目標
- (2) 道徳教育の方法

2 道徳とは何か

- (1) 道徳と倫理
道徳と倫理の意義 道徳と習俗の関係 行為における動機と結果

3 価値について

- (1) 価値の意義 価値論 価値の客観性
- (2) 価値の諸相

4 自由と任格

- (1) 自由の歴史・意義 自由と責任
- (2) 人格 人格性 人間性

5 個人と社会

- (1) 個人と社会との関連
- (2) 社会観 人生観 世界観

6 道徳教育上の諸問題

- (1) 社会の変貌
- (2) 人間疎外と道徳教育

【青年心理学】

選択2単位

伊藤安二

1 青年期とは何か

青年期のはじまり、青年期の意味するもの、自我の目覚めと反抗、価値と美の探究、否定から肯定へ、青年心理学の出発、青年心理学の否定

2 社会行動

社会意識の発達、社会集団からの影響、社会的態度及び行動の変化、青年の社会行動、

社会的差別、大人のつくった価値への抵抗、口論、社会的距離、親友、友人、仲間

3 指導者の問題

青年期における指導性、指導者の特性と自覚、発奮

4 友人

友人の選択、異性間における友人関係、恋愛

5 宗教について

宗教、信仰、信念とは何か、青年と宗教、宗教の研究法

青年における宗教の基礎、子供の現実性、宗教的目覚めと疑問

6 青年期における諸問題

ノイローゼについて、ノイローゼとは何か。発病の諸条件、かかりやすい人の性格。

対人関係の困難性、特に強迫神経症について、心因性とは何か、症状の分類、

青年の神経症の特徴

7 青年の自殺

自殺の意味、死にたい気持、自殺の心理分析、自殺の予防法

8 青年の家出

家出の目的と動機、原因と理由、どういう種類の人が家出するか、どうすればいいか

どうにもならないものが残る、家出の病理学

9 劣等感について

劣等感の発生、種類、メカニズム、劣等感の活用

10 青年と趣味

酒とタバコと娯楽について。青年と音楽、演劇、ファッション、流行、ダンス、スポーツ、等々について。

11 青少年の非行

12 結論

専 門 科 目

—幼児教育科—

【音楽Ⅰ（理論）】

必修2単位 通年 鎌田弘子

考えてみますと一年とは何と短いのでしょうか。残されたこれからの一年を思う時、一体何を教えるべきか途方に迷ってしまいます。と申しますのは、御教えしたい事があります。本当から言えば後3年間は欲しい。しかし、皆様はもう一年で、立派な一人前の先生として各々の現場へ出て行かなければならないのです。

そこで私は考えました。まず幼稚園ですぐ役立つ事から始めなければならないのです。本来ならば一応ソルフェージュを終了し、「ハーモニー」「メロディーのつくり方」（楽式を含む）これ等をマスターした上で、じっくり、判奏のつけ方に取り組んで行きたいのですが、それには、とても時間が足りません。

そこでまず、難しい理論は必要最小限にとどめ、実際面ですぐに役立つピアノの伴奏のつけ方から始めたいと思います。

勿論、ハーモニーは非常に大切なものです。音楽の骨組とも言うべきで一年の時、この事については、何度も説明をしたと思います。このハーモニーについては、実際の伴奏づけにしたがってその都度説明して行くつもりです。

要は、知っているうた（メロディ）について、正しいハーモニーによる伴奏が出来る様になる事です。出来ればその曲の個性に合わせた、伴奏形がつくられたら尚理想的ですね。そしてそれが、一番幼稚園の先生方に望まれる事なのです。いつも楽譜と首っぴきでは困りますものね。しかしこれは容易ならぬ事です。一せき一ちようには行きません。頭ではわかっている、仲々難しいものです。勿論ピアノの技術がなければとうていのぞめない事です。ピアノのレッスンには一層はげんで頂きたいと思います。後期には、現場ですぐに役立つという事を主目的とし、リズム遊び器楽合奏、リトミック、出来ればオペレッタ等、幼児の音楽教育に必要なあらゆる分野に取り組んで行きたいと思います。その中から音楽の楽しさ、素晴しさを理解し、尚指導出来る能力を身につけて頂きたいと思います。何と申しましても貴重なこの一年ですので、お互に精一ぱい努力し、実り多き一年にしたいと思いますのでよろしく願います。

【音楽Ⅱ（ソルフェージュ）】

必修2単位

鎌田弘子
富田英也
横塚和子
大野明美
荒井弘高

音楽の総合的な力を養うために、特に音楽の基礎作りに重点をおいて指導します。
幼児教育科の学生にとっては、ピアノその他の楽器の演奏技術を修得する事は勿論です

が、同時に音楽のしくみや流れを正しく理解する事が、非常に大切に思われます。しかし音楽は、あくまでも、耳から入る音によって美しさを表現するものであり、譜面上の理論ではありません。ですから実際にうたったり、ひいたり、又カセット等を用いて受講者が理論的に理解すると同時に、身体で実感し、これ等を修得出来る様指導します。

音楽の基礎作りとは次の項目に分けられます。

- 楽典→記譜上の約束ごとを覚え、音楽のもとである、音程・音階・調・和音・リズム・拍子、その他のことがらを身につける。
- ソルフェージュ→楽譜を正しく読むため、正しく書くために、視唱と聴音の練習を行なう。
- ハーモニー→ハーモニーとは音楽の骨組みとも申せましょう。主三和音から属七の和音迄正しく使用出来る様に指導します。
- メロディの作り方→これからの幼児教育に必要な音楽の創作指導が出来る様に基礎的な事を指導します。
- 伴奏のつけ方→どんな曲にも、正しいハーモニーによって適切な伴奏がつけられる様指導します。
- 合唱→正しい発声の訓練、音楽性を養うために行ないます。

【音楽（器楽）】

必修2単位

武山信治
鎌田弘子
大貫忠治
横塚和子
富田英也
国松明子
高橋久子
荒井弘高
川島由紀子

I 器楽指導の一般目標

音楽における器楽の演奏は、客体としてある種々な楽器に対して、われわれ人間の精神的な諸機能として、誰にでもある音楽的な知性や心情や、また意志力の一体化した能力による、技術的な正しい操作を通しての音楽内容の表現である。したがってそこには、稚拙な段階から高度に磨かれた技術と表現のあることは言うまでもないが、よく考えてみるなら、その技術の操作と表現には、人間における日常生活行為の中での、例えば…手つき、手すじ、手ぐせ、手だて…などなど、事物や人間関係での心理的な、また家庭的・社会的な環境状況を含め、広い意味での技術や手法が背景基盤となっており、それらの反応反映としての技術的操作なのであるから、そこには必然的に各個人の性格や個性が表現されるものであるとみられるのである。

この技術的操作における人間と物（楽器）のかかわりあう接点こそ重大視されなけれ

ばならない。それは単なる楽器の技術的操作ではなくして、そこでの研究と修練は、表現された音楽の内容の理解とともに、その背景基盤である日常生活行為における態度と姿勢へと滲透して行くべきものであり、また逆にそれらの態度と姿勢が、技術的な操作と表現へともたらされるべきものであると考えられるからである。その点において器楽の技術的研究と修練は、自己自身にとり革新と生成への道であることを自覚しなければならぬのである。

II 器楽指導の内容と方法

1. 器楽指導の種類と内容

- イ. ピアノと鍵盤楽器（オルガン等）
- ロ. 打楽器（小ダイコ・大ダイコ等）
- ハ. リード楽器（アコーディオン・ハーモニカ等）
- ニ. 器楽合奏

2. ピアノ指導の内容とその方法

鍵盤楽器としてのピアノの演奏技術は、声楽はもちろん、あらゆる楽器演奏の基本となるものであるから、特に重点をおき、各自の進度に応じて次の5段階に分けて指導するが、参考教材や応用教材をも加味するとともに、ピアノ指導の時間内に、（宿題もありうる）ソルフエージュの科目との一体化において、ピアノによるソルフエージュの指導をも、初歩的な基礎の応用として試みたい。

グレード	基本教材	最低期限	参考教材	応用教材
I	バイエル90番まで	1年次のうちに終了すること	進度のおくれているものでも、バイエル50番に達した時点(1年次後期)で、ピアノによるソルフエージュを一斉に加味する。	
II	バイエル最後まで	2年次前期中に終了すること	ブルグミュラー25番中の簡易なもの3曲	幼児音楽教育法中の教材より適宜10曲を選択練習すること。
III	ソナチネⅠの1.4.6.9の程度	卒業時までには終了するよう努めること	全上のものに更に5曲を加味する	全上のものに更に20曲を卒業までに加味する
IV	ソナチネⅠの10.12.15の程度 ソナタアルバムⅠの3.6の程度	年間3曲以上終了するよう努めること	Ⅳ・Ⅴグレードのものは、研究のためと、また幼児の鑑賞教材ともなるから、次の曲集から適宜自由選択して、更にレパートリーを広げるのがよいであろう。	
V	ソナタアルバムⅠの8.9.13.の程度 それ以上の曲	全上	1.カバレフスキーの「子供のための小曲集」より 2.チャイコフスキーの「子供のアルバム」より 3.バルトークの「ミクロコスモス」Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ巻中より 4.その他	

註 1. バイエル初歩より出発するものでも、普通の努力によって、1年次においてバイエルを終了することができるが、進度のおそいものでも卒業時までにはバイエルを

終了しなければ、単位取得が保留されることになるであろう。

2. 参考教材については、ブルグミュラーの作品を含め他の作曲家の作品及びその他をあげたが、何れかに重点をおくなり、それらから自由選択するなり、何れにしても指導教官からの指示によるのが最良であろう。
 3. 二年次になり教育実習がはじめられるから、進度の如何を問わず、一年次の後期（冬期休暇をも利用するのがよい）より、応用教材の弾き語りができるよう備準すること。
 4. 二年次の応用教材は、各自より計画的・系統的に（例えば幼児教育において必要とされる行進曲や年中行事別・四季別・遊戯別など）それらの教材を消化することが望まれる。
 5. ピアノを持たないものは、最低限オルガンを家庭に備えることが望ましい。
3. その他の器楽指導について
1. の口、ハ、ニの器楽指導については、基本としてのピアノ実技の応用と考えてもよいが、それらはおのおの独自の指導の目標と方法をもつものであるから、ソルフェージュや音楽理論・音楽リズムとの関連が具体的に一層深まってくることを考慮されたい。

【美術工芸 I】

必修2単位 通年

田 中 甚 吉

◎ 講義内容の重点として考えること

美術工芸の習得が幼児教育の重要な要素の一つであることは論をまたない本学に於いては此の分野に於ける最も基礎的な正しい技能の練磨に重点を置き正しい指導能力を養成致したい幼児の絵画及工芸の重要な部分である表現力を育成するには、教師自身の技能力と幼児の美意識の芽生えを認識出来得る力を持たねばなりません。この点を考慮して実力ある幼児教育者を養成する講義内容と致したい。

◎ 履修内容として

- 1 実技実習（人物・静物・風景）
 - 2 塑像
 - 3 基礎デザイン
- | | |
|----------|----------|
| A 観察と描写 | B 平面構成 |
| C 観察構成 | D 色彩演習 |
| E 造形表示演習 | F デザイン実習 |

【体 育】

必修2単位

田 城 清三郎

【社会福祉 I】

必修2単位

茂 又 一 郎

公害、難病失業などの進行する中で社会福祉の使命を明らかにする内容は概ね次の通り

1 総 編

- (1) 社会福祉の意味と歴史
- (2) 社会福祉の対象（基本人権について）
- (3) 社会福祉の主体（立法・行政の組織機構・従事者・施設）
- (4) 社会福祉事業の財源
- (5) 関連事業と国際機関

2 各 論

- (1) 生活保護事業
- (2) 医療保護事業
- (3) 老人福祉事業
- (4) 婦人福祉事業
- (5) 児童福祉事業
- (6) 家庭福祉事業
- (7) 心身障害者福祉事業
- (8) 犯罪者更生事業
- (9) 災害救助事業
- (10) 地域福祉事業

【児 童 福 祉】

必修2単位

茂 又 一 郎

児童の過保護の反面子殺、虐待、遺棄などが目立つとき、児童の権利に基く正しい児童福祉を徹底するよう努める。

1 総 論

- (1) 児童福祉の意味と歴史
- (2) 各国児童憲章と国連児童権利宣言
- (3) 児童福祉制度（立法・行政の組織・機構・従事者・施設）
- (4) 児童福祉の財源

2 各 論

- (1) 健全育成＝一般児童対策、児童相談、青少年相談、母子保健、児童厚生施設、児童文化財、家庭、学校、社会環境

3 要保護児童対策

- (1) 在宅指導＝各専門職員及びボランティア活動
- (2) 施設保護＝各児童福祉施設の概況、施設の最低基準など

【小児保健（実習）】

必修1単位

中 井 雪 江

【小児保健Ⅰ】

必修4単位

浦 瀬 篤

【精 神 衛 生】

必修2単位

松 山 欣 子

人間を理解する上において、精神的健康と不健康との差異を考え、不適応の問題について、心理学的立場から精神医学、ケースワーク等の隣接領域との関連性を考察する。対象としては、大体において、幼児期からの発達段階に応じて、学童期、青年期を中心にして、実際の事例を検討しながら適応への変容過程について分析を試みる。

【小児栄養】

必修2単位

中井雪江

小児とは成長を営んでいる発育の途次にある個体であって、成人を小さくしたものである。成熟への過程にあることから、身体構成成分となる各種の栄養素が適度に摂取されることが、とりもなおさず小児の健全な身体発育にとって欠くことのできない要因となるし、また知的発達にとっても少なからず大切な要因となることが理解されるであろう。

また、小児の栄養は社会経済的な影響をもっとも受け易いものであることは歴史的にも証明されており、栄養過剰の問題は特に先進諸国になってはいるものの、発展途上国では依然として欠乏の問題が深刻であり、人類全体としての立場から食糧の量的ならびに質的問題を把えて行くことがより大切であるし、国際的理解を深める上にも不新可欠の知識であるといっても過言ではないであろう。

これらの基本的問題を理解するために、次の各項目についての正しい知識を身につけられることを希望する。

総論

小児栄養の現状とその問題点

各論

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 小児の発育 | 2 生理と栄養 |
| 3 小児期の栄養所要量と代謝 | 4 乳児栄養 |
| 5 幼児栄養 | 6 学童・思春期の栄養 |
| 7 集団給食 | |

【小児栄養（実習）】

必修1単位

保育内容研究

【健康】

必修2単位

立川多恵子

「健康」は教育要領における1つの領域となっている。したがって、保育研究の1領域として科目が設定されている。保育を仕事とするものとしては、あらゆる機会に健康について考える必要がある。保育者は朝の子どもとの出会いにおいて、視診を通して、子どもの健康状態を確認する。その後の保育は、どのような生活場面でも、健康に関する配慮は忘れてはならない。

ここでは、「幼児の健康教育の実際を考える」という観点から、次の3点をとりあげて指導を行なう。

- (1) 幼児の年齢や、心身の発達の程度に応じて、健康に関する望ましい習慣や態度を育成していくには、どのような配慮が必要であるか。
- (2) いろいろな質の違ったあそびを楽しく行ない、身体機能の調和的発達を促すことが出来るよう、あそびを通して幼児の運動指導を行なうにはどうしたらよいか。
- (3) 幼児の安全教育は何かを考え、安全に関する望ましい習慣、態度の育成について

日常生活の中で、それをどのように指導したらよいか、健康指導の実さいを視聴覚教材の製作、幼児観察、あそびの実際指導を交えながら講義する。

【社会（幼児）】 必修2単位 大谷 治子

- 1 幼児教育の本質と幼児の社会的教育
幼児の本質、教育の本質、幼児の社会的教育（家庭、幼稚園、保育所に於ける）
- 2 保育史にみられる社会的教育
諸外国の保育史、わが国の保育史
- 3 領域「社会」の目標
「社会」の目標、ねらい。「社会」の指導の内容
- 4 教育課程（指導計画）と「社会」
- 5 実践論
「社会」を中心とした指導計画 指導の実際
評価 経験や活動について
理論的把握を基礎として実際例の研究について検討してゆく。

【自然】 必修2単位 清水 光子

- 第一章 幼児教育とは
1. 根本的な考え方
 2. 家庭教育と学校教育
 3. 教師と幼児のかかわり
- 第二章 幼児教育における「自然」
1. 自然とは
 2. 教育要領の受けとめ方、領域とは
 3. 領域自然について
 - ①幼児と自然の関わり
 - ②幼児教育としてねらいうることは何か
 - ③領域自然の内容ねらいを達成するには
- 第三章 領域自然を考えて幼児の望ましい経験や活動の具体例
1. 教材
 2. 計画
 3. 展開

【言語】 必修2単位 松山 依子

保育内容の1つとしての言語は、子どもの生活を通して、あらゆる場面、あらゆる機会において展開される。この点からとらえても、より具体的な、保育の場において、実際に役立つ言語教育法を学習する。実習として、教材の製作も試み、指人形、紙芝居、折り紙、等による、言語発達のための創作も試みる。

【言語】

必修2単位

中谷陽子

ことばを媒体にして気持ちを伝えあうことをコミュニケーションといい、人と人の関係が強まるにつれ発展するコミュニケーションの構造を、私達の生活の中でとらえる。また赤ん坊がどのようにしてことばを獲得していくか、その発達過程を追い、特に幼稚園・保育園において効果的で楽しい言語指導をくりひろげるために、その方法や教材検討もする。さらにことばに問題のある子どもへの接し方、理解のしかたも身につけてもらう予定である。

【音楽リズム】

必修2単位

黒崎栄子

本学では音楽的要素の大きい授業と、リズム的（身体表現的）要素の大きい授業とにわけ、二人の講師で分担している。子供の活動は元来そのように分けられるものではないが、このようにすることにより、より専門的に深めさせることを願っている。

- 1 幼児音楽教育の歴史及現状。
- 2 生活遊びの習得。
- 3 現場に必要な曲目の習得。
- 4 鑑賞教育ののぞましいあり方と現状に即したあり方。
- 5 現場に必要な器楽教育のあり方と、設備及びそのとりあつかい。
- 6 身体表現に関する技術及び考え方。

各自の保育観に応じて柔軟に応用・活用できることを目的に、以上のような内容を指導している。

【絵画製作】

必修2単位 通年

野口二郎

幼児教育は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等に示された教育目標にもとずいて実施されており、その六領域の中に「絵画製作」があるが、この名称は必ずしもその内容を表わしていない憾がる。これは幼児が絵をかいたり物をつくったりする造形的表現活動のすべてを意味する。

いうまでもなく幼児教育の指導者は前記、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」および指導書の示すところに従いながら、形式的、画一的なカリキュラムを立て、教育活動を行なえばよいのではない。幼児の造形的表現活動・創作的表現活動を教育計画のなかに正しく位置づけて独自のカリキュラムを作成して教育実践に入るべきものである。

この場合の独自のカリキュラムというのは指導者が幼児の発達に即しながら自らの見識で立案するものを指すのであり、「絵画製作」はその見識を養うための基礎的な研究・学習のための課目である。

【教育原理（幼）】

必修2単位

桑原作次

- 1 序—教育学の学習について
- 2 人間と教育

- | | |
|------------|----------|
| 3 人間の成長 | 4 学習課程 |
| 5 教育の本質 | 6 子どもと教育 |
| 7 現代教育の人間像 | |

【教育原理（幼）】 必修2単位 鈴木義隆

- | | |
|------------|------------|
| 1. 近代教育の展開 | 2. 教育の機会均等 |
| 3. 教育の目的 | 4. 学校教育 |
| 5. 教育内容 | 6. 教育方法 |
| 7. 教師 | |

【保育原理Ⅰ】 必修4単位 大谷治子

I 乳幼児期の発達課題

乳幼児期の発達課題として、保育思想の系譜、幼児と保育観、乳幼児期の発達課題を検討していく。

II 乳幼児の精神発達

乳幼の知的発達、遊びと精神発達、乳幼児に於ける性格の形成と発達の研究。

III 保育の構造と原理

保育の構造、保育の目的

保育の方法と環境についての解説をし乳幼児保育と言うことへの原理的把握を中心におきたい。

以上ごく概略項目を上げたに過ぎないことを付記しておきます。

【保育原理Ⅰ】 萩原元昭

「保育とはなにか」この基本的な問題を幼児の遊びを中心に考察し、具体的に「保育を見る目」を養うと同時に、その形としての保育の内容、方法についての諸問題を検討する。

テキスト 「保育原理」 村山貞雄・岡田正章編 学文社

参考文献、資料などは講義のときに呈示の予定。

【児童心理学】

乳幼児期から学童期に至るまでの発達をとらえ、運動機能と、精神発達との関連性を追求する。

尚、児童の発達について、成熟期と学習説の両側面から、各々の研究結果を比較検討し、新しい課題解釈の手がかりを学習する。

以上、二つの角度から、児童の情緒、感情の発達を中心に、知的発達、社会性の展開を試み、児童の生活の大部分を占める遊びの中から、発達の過程を考察する。

(テキスト使用 児童心理学)

【児童心理学】

必修2単位

清水知子

未来の社会を担う子どもたちをよりよく育てるために、子どもたちのものの見方・考え
方、行動のしかたなどを正しく理解すること、特に、それらがどんな条件のもとで、どん
な過程を経て発達してゆくかを理解することが大切です。

本講義では、児童心理学の課題・方法、発達の原理、発達の過程などについて理論的に
学ぶと同時に、保育・教育の実践を学ぶことを通して、現代の子どもたちをめぐる諸問題、
特に乳幼児の集団保育・教育や児童の学校教育・学童保育に関連する諸問題について考察
しながら、子どもたちの発達のすじみちや、生活の組織化、遊びや学習、人間関係や集団
づくりなどのあり方や意義について学びます。

【教育心理心】

必修2単位

松山依子

英語科教職科目参照。

【社会福祉Ⅱ】

選択2単位

茂又一郎

社会福祉事業の専門的、技術的方法を学び保育、教育の場で問題解決に役立つよう重点
的に指導する。

1 総論

- (1) ソーシャル・ワークの意味と歴史。
- (2) ソーシャル・ワークの基本原理。
- (3) ソーシャル・ワークの分野と使命。

2 各論

- (1) ケースワーク（個別指導）＝原理、過程、記録、評価、事例研究。
- (2) グループワーク（小集団指導）＝原理、過程、記録、評価、事例研究。
- (3) コミュニティ・オーガニゼーションワーク（小地域組織化事業）＝原理、過程、記
録、評価、事例研究。
- (4) その他。ソーシャル・アクション（社会行動）ソーシャル・アドミスレーション
（社会福祉運営）ソーシャル・リサーチ（社会調査）にも論及したい。

【養護原理Ⅰ】

選択2単位

茂又一郎

各種児童福祉収容施設における児童処遇に共通する基本原則について理解させるとも
にその意欲を助長するに努める。内容は概ね次のとおりとする。

- Ⅰ 児童養護の意味、目標を明らかにし、その歴史と家庭養護と社会養護の分化ならびに
分化の必要性を理解させる。
- Ⅱ 施設養護（社会養護）の原理、動向を理解させる。
- Ⅲ 施設における児童の日常的基本ニーズに即応する処遇の領域ならびに現況を理解させ
る。

Ⅳ 施設養護担当者（保母、児童指導員など）の教養と技術方法、記録、評価について理解させる。

V 施設養護をめぐる問題と将来の展望について理解させる。

【乳児保育Ⅰ】 選択2単位 大谷 治子

◎乳幼児保育の概念

乳児の発達、月令別の発達、乳児の環境（家庭と社会）

◎乳児の家庭保育と集団保育

◎乳児保育の制度と現状

◎乳児集団保育の目標

乳児保育の内容と方法

乳児保育計画（保育内容と年令的区分）

◎乳児保育の問題点その他

乳児保育の基礎は乳児の生理、心理的特質の全体像の把握にある。乳児のおかれている現代の環境条件を直視して、集団保育のあり方を考える。保育の内容については、乳児では生活保護面のウエイトが高いので、生理学的知識や保健といった医学的、生理学的基礎にたつが、精神的健康面については、特に大人と乳児の相互の働きかけにより成立する日々の経験の積み重ねの重要性を説きたい。

【美術工芸Ⅱ】 選択2単位 田中 甚吉

履修内容のレベルをあげて習得させること及び幼児画の指導と鑑賞並に批判を講義内容に加えることとする。

【視聴覚教育】 選択2単位 稲垣 一穂

NHKの幼稚園・保育所向けのテレビ番組の利用率は、全国約27,000の幼稚園・保育所で、80%を越える高い数字を示しており、栃木県内のほとんどの幼稚園にはカラー・テレビが設備してある。栃木県教委では、よい子の育てかた「すばらしい二歳」の番組を作成し、NETから毎日曜日朝8：45から放送し、幼児のA・V・E（視聴覚教育）に力を入れている。この教科は理論と実技の一体を要求するが、設備の整わない現状では一般視聴覚教育の概論ことに常識になっているエドガー・デールの視聴覚的方法と現在では視聴覚教育の王座を占めるカラー・テレビ利用方法を主として講義し別に、16ミリ映写技術習得を実習してもらいたいと思う。

【環境衛生】 選択2単位 中田 二三男

われわれを取りまく環境は、極寒極暑などのきびしい自然環境から、大気汚染、水質汚濁、騒音などの複雑な社会環境にいたるまで我々の健康とは切り離せない関係にある。

この環境と健康との関連性を追求し環境を改善し疾病を予防し、ひいては健康の保持増進に役だたせようとするのが環境衛生である。

我国における環境衛生行政の具体的なプログラムはつぎのとおりであるが、これに基づいて講義をすすめたい。

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 上下水道 | (2) 清掃汚物処理し尿処理、ごみ処理等 |
| (3) 鼠族昆虫等の駆除 | (4) 食品衛生 |
| (5) 乳肉衛生 | (6) 公害防止 |
| (7) 多数集合場所の衛生 | (8) 建築に関する衛生 |
| (9) 都市計画 | |

以上の中緩急により順序は不同である。

【住居学】

選択2単位

武藤重郎

この講義はつぎのような内容をもっています。すなわち、1 よい住宅、近代住宅、2 住居の歴史、3 住居の設計、4 製図、5 外構、6 共同住宅、7 住居の経済性、8 庭園、9 住居の構造および実例

1、ではよい住宅と近代住宅について常識的な説明をします。2、では住宅およびその設備の歴史的な発達について述べます。3、では住居の敷地の選定、間取りの原理および各室の特性などについて詳述します。4、では住居設計を表現するために用いる製図法について述べます。5、では住居の門や塀などの外構について述べます。6、では共同住宅すなわちアパートの性格と設計法の概要について述べます。7、では経済的な住居につき述べます。8、では日本庭園および西洋庭園の構成および設計につき概説します。9、では住居の構造および設計の実例につき述べます。

【育児学】

選択2単位

【教育史】

選択2単位

鈴木義隆

- 江戸時代
昌平黌・藩校・寺子屋
- 明治以降
学制・教育勅語
- 終戦後
六三制実施・道徳教育
ゼミ 女教師の歴史

【保育原理Ⅱ】

選択2単位

大谷治子

◎保育の実際と方法

1 乳幼児の健康保育と養護活動

2 保育をささえるもの

遊びと保育、自然と社会と子ども 子どもの創造性、児童文化と表現活動
遊具、施設、設備、その他

3 保育計画とその展開

保育計画の基本条件、特性、展開 保育計画の実際

4 保育効果と評価

◎保育行政と保育機関

1 保育機関の発達と現状

2 保育行政と保育施設の基準

3 学制改革

4 保育関係法規

以上、実践的把握を中心にして解説してゆきたい。

【養護原理Ⅱ】

選択2単位

茂 又 一 郎

養護原理Ⅰをふまえて、具体的に施設養護の問題点を探るとともに児童養護従事員の注意すべき点を指摘し、かつその意欲を増進させるよう努める。概ね次の項目による。

- 1 制度上の施設体系について—児童相談所、福祉事務所の機能とボランティアのあり方
- 2 収容型養護について—ア 環境上問題のある児童、イ 心身に障害のある児童、ウ 行動に問題のある児童の収容施設別に解説する。
- 3 家庭型養護について—里親、母子寮、家庭養護対象の取扱について。
- 4 通院型養護について—精神薄弱児童通院施設、児童館、児童遊園などの実際。
- 5 家庭と施設との関係について—施設と地域社会との関係について問題点を探る。
- 6 施設養護従事員の現状とその問題点を探る。

【小児保健Ⅱ】

選択2単位

【家庭管理】

選択2単位

菅 原 ま さ

現代の家庭管理の意義目標を考え、具体的管理にあたって、次の項目につき検討し、今後の家庭生活運営について研究する。

- 1 家庭生活の本質と機能
- 2 家族関係
- 3 社会と家庭生活
- 4 家庭管理の意義目標
- 5 生活設計
- 6 家庭経済
- 7 消費者問題
- 8 家族の時間と労力の管理
- 9 家族の健康管理
- 10 今後の家庭管理の在り方

【養護内容】

選択2単位

中 井 雪 江

養護原理Ⅰ、及びⅡをふまえて、各施設養護に共通する原理、原則とそれに対処する方

策についてのべるとともに、とくに保母の果すべき任務について解明する。概ね次の内容による。

- 1 日常的処遇について一日課、衣食住生活指導、しつけの問題など。
 - 2 学校教育について一学令前児児と学令児の集団学習ならびに指導など。
- 健康管理について一健康と安全の管理、性教育、伝染病の予防など。
- 4 レクリエーションについて。
 - 5 地域社会との協力関係について。
 - 6 個々の児童の発達特性に対応する処遇について。
 - イ ケースワーク的処遇
 - ロ グループワーク的処遇
 - ハ 医学的、心理学的処遇
 - 7 保母の使命。

【乳児保育Ⅱ】

選択2単位

中谷陽子

おどろくほどの遅さで、新しい経験や知識を吸収していく子どもの生来的な力を、十分に発揮させる鍵は、保育者（母親も）の手中にあるといっても過言ではあまい。講義では子どもの身体、精神の発育はもとより、知的関心を十分に培うために、新生児から3才児までの月令ごとの保育のポイント、発達をうながすための日々の遊びのプランを具体的に紹介したい。皆さんにもスケジュールの試作や玩具選び、時にはおもちゃづくりも試みていただくつもりである。

【青年心理学】

選択2単位

伊藤安二

英語科教職専門科目参照

【乳幼児心理学】

選択2単位

松山 依子

乳幼児保育のさいに、自己主張が、充分できない段階の子ども達の、生理的発達、及び心理的な発達を系統だてて、学習したいと考える。いる。

まず、最初の幼児期に関しては、人間の生涯に於いて、発達のめざましい時期でもあるので、できるだけ、きめこまかく、発達区分を細分化して、発達過程を追跡し、乳児の生理的発達の自立を理解する。

幼児期については、特に、一般的な発達と平行して、子どもの特徴、個人差についても研究を重ね、集団保育の中で、個々の子どもの特徴を見落すことのないよう、適応の問題にも触れたいと思う。

尚、集団保育の中で、起り易い問題として、ホスピタリズムの原因と治療についても保育者としての立場から、充分の知識と、理解を深められるよう学習体系を樹立したい。

【臨床心理学】

選択2単位

松山 依子

臨床心理学の領域および、その役割について概説し、主として児童期から青年期における問題行動を取扱う。

典型的な case については、心理療法の技法を用いて、実際に分析を行い、診断、治療の具体的な考察を試みる。

尚、心理検査に関する紹介と、検査法および、心理テストの効用と限界についてもふれる。

【日本の自然】

選択2単位

樋口 弘道

もう一度、野や山を歩いて、自然の美しさ、すばらしさ、楽しさを再発見し、日本の自然、日本の風土に新鮮な眼をひらかせることを目標とし、本講義では、眺め捨てていた身近にある自然の観察に重点をおき、例えば短大周辺の野外観察など、そして動・植物の標本やスライドを使って、自然への参加のガイドとなるようなものにした。

この講義の内容は、前・後期では多少異なるが、概ね下記の通りである。
はじめに一日本のおいたちと生物群の特色

I 春の野の花

- ・短大周辺の野草と春の七草
- ・訪れる虫たち—ミツバチの言葉他
- ・名前調べと植物標本の作り方
- ・風媒花と虫媒花
- ・花と葉のかたち
- ・帰化植物のはなし

II 思川の流れにそって

- ・川の構造と分類
- ・川の生物たち—アユのなわばり他
- ・ホタルのはなし

III 夏の野と虫たち

- ・虫たちの棲みか—カブト虫他
- ・チョウの生活—蝶道・その他
- ・小動物の飼育と観察
- ・ツル草について—左巻・右巻きのはなし

IV 山の生物

- ・尾瀬の湿原をさぐる—そのおいたちと植物
- ・高山植物の由来—花粉と氷河時代
- ・垂直分布と水平分布

V 秋から冬へ

- ・短大周辺の野草と秋の七草
- ・アカトンボのはなし
- ・日本の天気と台風—天気図の見方・書き方
- ・稲作と生物相—イチモンジセセリと天敵のはなし他
- ・紅葉と雪虫のはなし

VI 冬の生物

- ・思川の渡り鳥について
- ・虫たちの冬越しと変態について
- ・植物たちの冬

ゼミナール

【心 理 学】

和 気 洋 美

ゼミの内容については、ゼミ参加者全員で討議の上決定する予定である。

〔案〕東京都内の十数箇所の保育園児、4～5才児を対象とする、過去10年間の知能検査資料の内容を詳細に分析し、テスト項目の妥当性を検討する。

学生便覧

昭和52年度

昭和52年4月10日発行

編集・発行 **白鷗女子短期大学教務課**

〒323 栃木県小山市大行寺1117
電話 (0285) (24) 4300 (代表)